

家庭学習の手引き

長野市立更北中学校

年 組 氏名

中学校の学習の特徴

- 学習内容が多様になり、**自ら課題を見つけ解決する力**が必要になります。
- 筋道を立てて考える力**や、**広い視野で物事を見る力**がさらに必要になります。
- 学習した内容を覚えるだけでなく、**生活に関連づけて自分の考えをまとめられる力**が必要になります。
⇒授業はもちろん、家庭での学習で復習したり、苦手な教科をカバーしたりしていくことが重要になります。

ところが、中学生になると…

部活が忙しくて、勉強時間が確保できない

家ではなかなか学習に集中できない

どんな勉強をしたらいいかわからない

わからないところがあって、先に進めない



忙しい毎日、授業もどんどん進んでいく中で、勉強のやり方や時間の確保に苦労している人も多いはず。

自分の日頃の家庭学習を振り返ってみてください…

前にやったノートを丸写ししたり、答えの部分だけを書き写ししている人はいませんか？

わからなかったところをそのままにして、テストの前にあせってしまう人はいませんか？

上記のような様々な力は、そんな家庭学習をしていたり、テスト前になって慌てて一夜漬けの学習をしたりしては絶対に身につけません。では、日頃からどんな学習をしていくことが必要なのでしょうか。

家庭での学習では

- 定期テストの前だけに目を向けるのではなく、毎日家庭学習に取り組めるようにしましょう。
- 新聞やニュース、読んだ本などの話題について、家族で意見交換をしてみましょう。
- 学習する場所を決め、整理整頓をし、計画的に学習を進められるようにしましょう。
- 毎日の**家庭学習の時間の目安は、学年+1時間**とわれています。その時間をどう使うのか。
 - ① 自分が苦手としている部分、もっと復習をする必要がある部分をまず洗い出すために、毎日の学習をきちんと積み重ねていく。
 - ② 課題として出されているものを「こなす」（ただ写し取る作業をする）のではなく、各教科の特性をしっかりと理解した上で、「自分に合った学び方」身につけていく。（解き方・まとめ方・学習するタイミング…）

本年度、更北中学校では…

☆これまでの**国語・数学・英語の3教科の提出ノート**に加え、**社会・理科についても週1回（土日）に課題**が出されます。

☆内容についても、ドリルなどのくり返しの学習に加え、筋道を立てて考える力や、自分の考えをまとめる力を身につけるための問題が出される教科もあります。

【国語科】

(1) 内容

- ・月曜日～木曜日 漢字練習（200字帳）
※漢字が苦手な人は150字帳の使用も可
- ・金曜日 短作文、ワーク、単元プリント、すらすら文法など

(2) 提出方法

- ・すべて、課題が出された次の登校日に提出します。（月→火、……、金→月）

(3) 評価の方法

- ・提出率（毎日出せているか）と提出内容（丁寧に書いているか、工夫をしているか、楽をしていないか等）の両方で判断します。

(4) 学習のポイント

- ・漢字練習…①小テスト方式で書けない字を書き取る。
②ふりがなをふって読みを確かめる。
③意味がわからない語句は辞書で調べる。
- ・その他…解いたら答え合わせをし、間違えた問題を後日もう一度解く。
それでも間違えたら教科担任の先生に質問しよう。

【社会科】

社会科は「暗記科目」と思われがちです。もちろん、必要な知識を覚えることは、学習の基本であることは間違いありません。でも、実はそうした知識をもとに…

☆様々な情報を調べたり、資料を読み取ったり、活用したりする技能

☆学習した内容から、特色や関連を見つけ出し、考察したり、自分なりの考えをまとめたりする力

を身につけることが重要になってきます。

そこで社会科では次のように家庭学習を進めていきます…

① 課題

【知識をしっかりと定着させるための課題】

- 各学年に配布されているワーク（基礎・基本徹底ワーク）を基本とする。
（範囲は週の中で各教科担任から連絡をしますが、基本的にはその週に学習した範囲のページです。）

【資料の活用や考察、自分なりの考えをまとめる力を高めるための課題】

- 学習の進み具合に応じて、プリントでのまとめや確認、資料を活用したりする問題のプリントが出されることもあります。

② 提出日…毎週月曜日の朝（毎週土日に、指定された課題を行う）

③ 評価…社会科オリエンテーションで配布されたプリントの基準に基づいて評価

※提出率、提出内容をあわせて評価していきます。

④ 学習のポイント

- 指定された範囲の内容を、提出ノートに解いていく。
- わからないところは空欄にせず、必ず教科書や資料集を使って調べる。

※「自分で調べる」というひと手間が、一番大事!!!

- 解いたら必ず答え合わせをする。間違えたところは、正しい答えをしっかりと書き込み、もう一度教科書で確認してみよう。それでもわからないところは、教科担任の先生に質問しましょう。

【数学科】

(1) 内容

①『ダブルトライ数学の学習』→提出ノートに1ページ以上解く。

※『トライノート』は、普段は使いません。指示されたときに取り組んで提出します。

②プリント→宿題として出された場合は、提出ノートの代わりに取り組み、翌日提出する。

(2) 提出方法

- ・火～金曜日：前日に1ページ以上取り組んだノートを提出する。
- ・月曜日：金～日の週末 3日間で1ページ以上取り組んだノートを提出する。

(3) 評価の方法

- ・提出率（毎日出したかどうか）と内容（自分の目標に向けて頑張っているか、簡単なものばかり解いていないかなど）で判断します。

※ページをためて一気に提出しても1日分です。

(4) 学習上の留意点

- ・『地道が近道!』何度も繰り返し解くことが大切です。2度やってダメなら3度。3度でダメなら4度。コツコツと取り組んでいこう。
- ・暗算で答えを出すのも必要ですが、頭の中に描かれたことを文字で書き表すことが、筋道を立てて数学を解いていく力につながっていきます。計算問題であっても丁寧に途中式を入れましょう。ケアレスミスも減ると思いますよ。
- ・1問ごとに○付けをつけましょう。また、間違った問題は、赤ペンで途中の計算過程などを書きましょう。（答えだけ写さない）

【理科】

(1) 内容

『理科の完全学習』⇒指定の範囲の「学習ノート」に問題を解く。

※基本的にはその週の授業で学習した単元が範囲になります。各教科担任から週の間に指定されます。

(2) 提出方法

- ・土日に課題を行い、月曜日に提出

(3) 評価の方法

- ・提出率（毎回出したかどうか）と内容で判断します。

(4) 学習上の留意点

○**教科書で漢字のものは、必ず漢字で書く。**

教科書に漢字で書かれている用語は、必ず漢字で書くようにしよう。正しく書くためにも、ノートに書く時は丁寧に慎重に書くこと。（テストで出題される用語は、教科書の記述に準じて漢字のものは漢字で書く。）

○**問題を解いたら、必ず答え合わせをして、正しい答えを知る。**

答え合わせは必ずしましょう。コツは自分に厳しく採点することです。あいまいな答えを良しとしてしまうことは次につながりません。特に文章で記述する問題はより正しい文を覚えることです。文章での解答などで合っているかどうか分からない時には先生に質問を。

○**テスト前にはくり返し復習をする。**

ただでさえ難しい言葉を、一回で覚えるのは大変です。問題集や単元プリントを一回やって終わりにせず、最低3回は繰り返そう。

【英語科】

1 家庭学習の内容

家庭学習では英語の4技能のうちでは主に読むことや書くことを重点にやってください。時間や教材があればリスニング練習を取り入れてみてください。

- ① 音読：意味や場面をイメージしながら、覚えるまで声に出して読む。音読は、「話す力」だけでなく、「聞く力」「書く力」もアップさせます。(音読できない英語は、聞き取れないし、話せない。)教科書準拠のCDを聞いて繰り返すことも勧めます。
- ② 提出ノートに書く：単語や英文を、毎日繰り返し練習し続けることで英語が身についてきます。書くときのこつは、「音読しながら」書くことです。具体的には単語練習してからのテストやワークブックや問題をやることとなります。

2 提出方法

☆月曜日～木曜日ーノートに1pやる。ワークブックなら見開き2pでノート1pにカウントする。

☆金・土・日曜日ー昨年までは3pでしたが、本年度から1p以上やって提出する。

3 評価

A：内容のある学習が1pやってある場合。

B：1pはやってあるが、練習後に書けるかテストをやってなかったり、ワークブックの答え合わせができていなかったりする場合。

C：1pに満ちていなかったり、スキマが多い場合。

☆家庭学習は提出率と内容の2観点で成績に評価します。

**勉、つとめるというのは、
自己の力を出し尽し、
目的を達成するまでは
どこまでも続ける
という意味合いを
含んだ文字である。**

(橋本左内)

目的をしっかり持ち、日々学習を積み重ねていくこと、そしてあきらめずに続けていくことが大切です。

みなさんの学び・成長を、先生方も一丸となってサポートしていきます。一緒に頑張りましょう！

